

進行又は再発の子宮頸癌  
キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン+アバスチン併用療法  
患者プロトコル

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコル 1コース:21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
コース数 パクリタキセル、カルボプラチン:最大6コース キイトルーダ:最大35コース、アバスチン:制限なし 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》					
<b>【4剤併用療法】1~最大6コース目</b>					
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—	
①	キイトルーダ: 200mg/body	mg	Day1	30分	
	生食 100mL				
前投薬・内服	レスタミン	5錠	Day1	30分前	
	NK1受容体拮抗薬		Day1~	30分前	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+H2R拮抗剤+生食100mL		Day1	30分	
②	パクリタキセル: 175mg/m <sup>2</sup>	mg	Day1	3時間	
	ソルデム3A 500mL				
③	カルボプラチン: AUC(5)	mg	Day1	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				
④	アバスチン: 15mg/kg	mg	Day1	使用上の注意参照	
	生食 100mL				
<b>【4剤併用療法終了後】4剤併用療法期間を含め、キイトルーダ:最大35回、アバスチン:制限なし</b>					
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—	
①	キイトルーダ: 200mg/body	mg	Day1	30分	
	生食 100mL				
②	アバスチン: 15mg/kg	mg	Day1	使用上の注意参照	
	生食 100mL				
◆カルボプラチン:投与量=AUC×(GFR*+25) *GFRはCockcroft-Gault式によるCcrを用いる。 Ccrが130mL/minを超える場合は、130mL/minとして投与量を算出する。カルボプラチンは最大775mg/bodyとする。 ◆アバスチンは、初回90分かけて滴下。問題がなければ2回目:60分、3回目以降:30分に時間短縮可能。					

佐賀大学医学部附属病院